



# 京都大学 総合人間学部オープンキャンパス 2016

8月9日(火) 吉田南構内

京都大学総合人間学部オープンキャンパス

## 2016 会場案内 吉田南構内

### ① 学部説明会・模擬講義

[4号館3F 4共30教室]

### ② 相談コーナー

[総合館北棟1F 共北11・12教室]

### ③ 研究室公開 (集合場所はA・B)

[A: 総合館中庭北側]  
[B: 総合図書館前 (西側)]

### ④ 総合人間学部紹介コーナー

[パネル展示: 総合館北棟1Fラウンジ]  
[教員著書展示: 総合図書館]

### ⑤ 学生企画

[京都大学各種団体の演技:  
総合館北棟北側 中庭 付近]  
[現役総人生による学部紹介:  
総合館北棟2F 共北25・26教室]

### ⑥ 休憩場所

[総合館北棟BF Student Research Room]

総人受付

お手洗い

飲食施設

バッグ配布場所

自動販売機

公衆電話



### 相談コーナー

総合館北棟1F 共北11・12教室

時間 10:00~16:00

教員と先輩が受験勉強から大学生活まで何でも相談に乗ります。ざっくばらんな何でも相談コーナーです。総人の先生や先輩と話してみたい。そんな方も大歓迎です。気軽に足を運んでみてください。



### 学部紹介(図書)

総合図書館

時間 10:00~16:00

教員著書展示を行っている吉田南総合図書館は、学部展示の場所とは少し離れていますが、総人の先生が執筆した多くの本を閲覧できます。この機会にぜひ著書を手にとってみてください。



### 学部紹介(展示)

総合館北棟1Fラウンジ

時間 10:00~16:00

総人の先輩が作ったパネル展示や、ビデオで総人を紹介します。ビデオは総人の先生方や現役総人生が生の声で学部のことを語ります。ぜひ、見に来てください。



### 学生企画

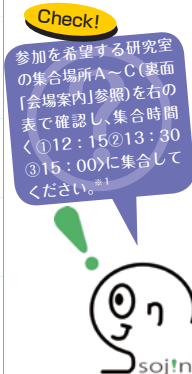
I 総合館北棟北側 中庭 付近  
II 総合館北棟2F 共北25・26教室

時間 I: 12:15~13:30  
II: 11:00~12:15  
13:30~14:45

I. 京都大学各種団体の演技  
京都大学の各種団体の演技です。間近で一緒に演技を盛り上げてください。出演予定は彩京前線(ダンス)、MITR(ダブルダッチ)です。

II. 現役総人生による学部紹介  
総合人間学部現役学生が、受験勉強・研究内容・就活・院進学・大学生活とは、などのテーマについて、プレゼン形式で紹介します。

企画	場所	詳細
① 学部説明会・模擬講義 全体説明、5学系説明 - 講義を聞いてみよう -	4共30教室 [4号館3F]	▶ 説明会A+模擬講義I (11:00~12:15) 講義テーマ: 「人権の彼岸に生きる人々」(レスチナ問題から考える「人間とは何か」) (岡 真理 教授) ▶ 説明会B+模擬講義II (13:30~14:45) 講義テーマ: 「オオサンショウウオとヒトとの関わり」 (西川 完途 准教授)
② 相談コーナー - 教員・学生と語ろう -	共北11, 12教室 [総合館北棟1F]	(10:00~16:00)
③ 研究室・実験室公開	【総合館・3号館・総人棟・人環棟】	第1クール (12:30~13:15) / 第2クール (13:45~14:30) 第3クール (15:15~16:00)*1
人間科学系		集合 研究室公開教員 教員専門分野 研究室(実験室)
認知情報学系		A 松田 英男 教授 映画論 総合館南棟2F 230研究室
国際文明学系		B 佐藤 義之 教授 哲学・倫理学 人環棟5F 521研究室
文化環境学系		A 小島 基洋 准教授 英文学 総合館南棟3F 307研究室
自然科学系		A 船曳 康子 准教授 精神医学・発達行動学 総合館南棟2F 216研究室
		B 上木 直昌 教授 確率解析学 人環棟2F 222研究室
		A 河崎 靖 教授 比較・対照言語学 総合館共北4F 416研究室 / メディアセンター-語学教室
		A 合田 昌史 教授 西洋史・ポルトガル・スペイン近世史 総合館南棟4F 416研究室
		A 佐野 宏 准教授 万葉集・古代日本語・日本語学 総合館南棟3F 302研究室
		A 高谷 修 教授 イギリス文学・比較文学 総合館北棟4F 4128研究室
		A 太田 出 教授 中国近世史・東西文化交渉史 総合館南棟4F 428研究室
		B 増井 正哉 教授 都市史・建築史・歴史的環境の保全再生 人環棟4F 421研究室
		B 岩谷 彩子 准教授 人類学・[ジブナー] / ロマ研究 人環棟4F 427研究室
		B 木下 俊哉 准教授 物性物理学 3号館2F 204研究室
		B 高橋 弘樹 助教 有機構造学 人環棟5F 502研究室
		B 市岡 孝朗 教授 熱帯雨林の昆虫学 人環棟4F 403研究室
		B 石川 尚人 教授 古地磁気学・岩石磁気学 人環棟4F 410研究室
④ 総人紹介コーナー (パネル展示・教員著書展示)	パネル展示: 総合館北棟1Fラウンジ 著書展示: 人環・総人図書館	(10:00~16:00)
⑤ 学生による企画 (音楽・ダンス等)	I: 総合館北棟北側中庭付近 II: 総合館北棟2F共北25, 26教室	学生企画I: 京都大学各種団体の演技 (12:15~13:30) 学生企画II: 現役総人生による学部紹介 (11:00~12:15 / 13:30~14:45)



各企画とも自由参加となります。ただし、それぞれの企画で収容限度数を超えた場合は、事前に参加の意思表示を頂いても、先着順により受け付けますので、他の企画・他の時間帯へ変更いただく場合もあることをご了承ください。なお、文系・理系を問わず他の学部参加者もご参加いただけます。  
※1 原則、クールごとの繰り替えとして行っています。各研究室・実験室で3クールに分けて公開しています。各クールの内容は同じです。各クール開始の15分前に集合場所A・B(裏面「会場案内」参照)に集合してください。

吉田南構内は広いので、いろいろな建物で企画が行われています。研究室の場所や展示の場所がわからない時、迷ってしまった時は近くのスタッフに気軽に声をかけて下さい。

### 学部説明会

学部長と各学系主任による説明会です。 4号館3F 4共30教室

時間 A: 11:00~12:15 (後半は模擬講義I)  
B: 13:30~14:45 (後半は模擬講義II)



杉山 雅人 学部長

総合人間学部は京都大学で最も新しい学部です。今年で25年目を迎えます。文系から理系にまたがった多種多様な教育研究領域を有しています。哲学や歴史など我々の文化や社会に関わることから、認知・行動や地球などの人体や自然を扱うものまで、幅広く深く学ぶことができる学部です。必ずや、皆さんの興味を引いてやまない領域がいくつかあると思います。模擬講義ならびに研究室公開に参加して、それを実感してください。卒業後は、大学院、官公庁、製造業、マスコミ、国際機関など多様な業界で多数の卒業生が活躍しています。



### 京都大学総合人間学部

〒606-8501 京都市左京区吉田二松町  
TEL. 075-753-6506, 6507(教務掛)  
FAX. 075-753-7874  
http://www.h.kyoto-u.ac.jp

## 模擬講義

総合人間学部の講義を聴いてみてください。普段の講義より時間は短いです。大講義室で行われる大学の講義を実際に体験してみてください。 4号館3F 4共30教室

### 模擬講義 I (12:30~)

文化環境学系  
「人権の彼岸に生きる人々」  
～パレスチナ問題から考える(人間とは何か)」  
岡 真理 教授  
(現代アラブ文学・パレスチナ問題)



「基本的人権」とは、人間が生まれながらにして持つ基本的な諸権利のはずだ。祖国に安住できず、異郷に逃れた「難民」たちこそ、国家に護ってもらえない分、「人権」によって保護されてしかるべきだ。だが、この世界の現実とは違う。「人権の彼岸」とも言うべき状況に置かれている者たちがいる。パレスチナ難民の問題に焦点を当てながら、「難民」という存在を通して、現代世界とそこに生きる人間のありようについて考えたい。

### 模擬講義 II (14:00~)

自然科学系  
オオサンショウウオと  
ヒトとの関わり  
西川 完途 准教授  
(動物系統分類学)



オオサンショウウオは日本の特別天然記念物であることは小学校で教わるし、井伏鱒二の小説「山椒魚」は高校の国語の授業にも登場する。日本で最も知名度の高い両生類の一種であるが、それは海外でも同じで、特に江戸時代に日本から最初に持ち込まれたオオサンショウウオは、大きな驚きを持って迎えられたらしい。今回の模擬講義では、意外と知られていない、オオサンショウウオとヒトとの関わりについてご紹介したいと思います。

## 研究室公開

研究室(実験室)を訪れ、大学の研究室の雰囲気や先生方の研究の様子を感じとってください。※参加希望の研究室の集合場所を下欄で確認し、各クール開始時間15分前に集合してください。 総合館・3号館 人環棟

人間科学系  
映画論  
松田 英男 教授  
総合館南棟2F 230研究室  
集合場所：A



映画論の研究室です。私自身は、アメリカおよびイギリス映画を中心に、アニメーション、特撮まで研究対象としています。学部生および院生諸君(人間・環境学研究所)はさらに進んで、日本映画の古典から、世界のあらゆる映画に挑んでいます。どんな作品にも必ず見所があり、発見があります。既成の理論や外的権威に安易に頼ることなく、作品と資料に直接あたってじっくり考えるのが、京都大学の実証主義。しなやかな感性に期待しています。

人間科学系  
哲学・倫理学  
佐藤 義之 教授  
人環棟5F 521研究室  
集合場所：B



私の専門は「哲学」です。哲学はいわゆる「虚学」(社会の役に立たない学問)の代表のように見られていますが、まさにその意味で学問のひとつの典型ということもできるかもしれません。理屈だけでどこまで真実に押し迫れるか、妥協なく考え抜く学問だと言えるでしょう。ただそのため、研究室に来てもらっても、目を引く実験機材や珍しい資料、古文書などあるはずもなく、本が並んでいるだけですがっかりするかもしれません。

人間科学系  
英文学  
小島 基洋 准教授  
総合館南棟3F 307研究室  
集合場所：A



『フィネガンズ・ウェイク (Finnegans Wake)』——英語小説の最終形態にして、言語芸術の極北たる本書は、あまりに難解であるがゆえに誰ひととして読み通すことができない。…にも拘わらず、本書に魅せられ、生涯を捧げた人は数知れず。その一人である私も、そろそろ、次の世代の読み手を探しています。研究室をお訪ねになる際には、できればテキストを讀ましてきてください。

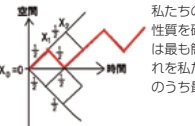


認知情報学系  
精神医学・発達行動学  
船曳 康子 准教授  
総合館南棟2F 216研究室  
集合場所：A



人のこころの状態は、とりまく社会・生活環境の影響を大きく受け、その影響の受け方は発達段階、また個人によって差があります。このため、各要因に分けてみて、個人差や発達段階を考慮した環境調整が必要と考えていますが、それには種々の立場の人の協力とサポートが大切です。人のこころに関わる専門家とそれぞれの役割について知って頂けたら、と思います。

認知情報学系  
確率解析学  
上木 直昌 教授  
人環棟2F 222研究室  
集合場所：B



私たちの専門は確率解析学といって確率論的な考え方をを用いた微積分です。特に私たちは方程式の性質を確率論と結びつけて調べています。その際私たちの用いている原理をこの度の研究室公開では最も簡単な場合を例に挙げて説明します。扱われるのは皆さんもご存知の連立一次方程式です。これを私たちはランダムウォークを使って解きます。ランダムウォークとはランダムな運動のモデルのうち最も基本的なもので、確率論の簡単な演習問題によく出されるものです。

認知情報学系  
比較・対照言語学  
河崎 靖 教授  
総合館北4F 4116研究室/メディアセンター語学教室  
集合場所：A



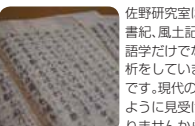
言語学は、総合人間学部にふさわしく、さまざまな学問領域とリンクします。例えば、人文系の心理学・歴史学・社会学・哲学・文化人類学、あるいは理系の数学・計算機科学・人工知能・脳科学などです。理論面では、言語の構造・機能と認知のメカニズムの解明、言語体系の法則性、言語変化のメカニズムを明らかにすることを目指します。一方、応用面では、外国語教育学と結びつき、学生の皆さんがいかに効率的に(いくつもの)外国語を身につけることができるかという言語教育の問題にも取り組めます。今回のオープン・キャンパスの機会を利用して、メディアセンターで実際に機器に触れ、大学における言語教育を実感してもらいたいと思います。

国際文明学系  
西洋史・ポルトガル・スペイン近世史  
合田 昌史 教授  
総合館南棟4F 415研究室  
集合場所：A



私の専門は西洋近世史、とくに15-16世紀のポルトガル・スペイン史です。コロンブスやマゼランといった大航海者の活躍した時期におけるヨーロッパとアジア・アフリカ・アメリカとの交流について考察しています。1・2年生向けの全学共通科目では西洋史の概説を担当し、中世にさかのぼってヨーロッパ世界の成立と拡大について講義しています。

国際文明学系  
万葉集・古代日本語・日本語史  
佐野 宏 准教授  
総合館南棟3F 302研究室  
集合場所：A



佐野研究室は、7・8世紀を中心とした古代日本語の研究を行っています。具体的には万葉集、古事記、日本書紀、風土記といった上代文学作品や出土木簡などが研究対象です。音韻や文法、語彙や文体といった国語学だけでなく、作品解釈や当時の思想を研究しています。現在は万葉集の文字や歌の表記についての分析をしています。上代文学作品での「漢字」という文字の使い方には表語と表音の両面にわたって重層的です。現代の漢字仮名交じり文にするとは分らなくなりやすけれども、原文は文字の選び方に工夫があるように見受けられます。当時の人々には恐らく当然のこと、現代の我々は一つ一つ確かめなくてはわかりませんが、言葉の書き方と読み方、漢字の訓み方、和歌の読み方などを分析しています。

国際文明学系  
イギリス文学・比較文学  
高谷 修 教授  
総合館北棟4F 4128研究室  
集合場所：A



18世紀イギリス文学が専門ですが、最近ではイギリスの作家に対するギリシア・ローマ文学の影響という問題に関心をもって取り組んでいます。ギリシア・ローマ文学の中には人口に膾炙した名句が沢山あります。festina lentelaは中でもよく知られた言葉でしょう。これは「ゆっくりと急げ」という意味で、ローマ帝国の初代皇帝アウグストゥスの座右の銘(の二つ)でした。日々、忙しい時代ですが、悠々と急ぎたい、と思っております。

文化環境学系  
中国近世史・東西文化交渉史  
太田 出 教授  
総合館東南棟4F 428研究室  
集合場所：A



文献史料とフィールドワークから中国の近世〜現代史を研究しています。主に上海西部の近郊農漁村を歩いて、船上生活している漁民を調査してきました。彼らの住居や生活はもちろん、宗教・信仰や漁撈方法などについてもインタビューして、文献史料と比較しながら組み立てていこうとしています。今、アジアを考える時、いろいろな意味で漁業や海洋は重要な論点となってきています。どうですか、皆さんもいっしょに自分の足で歩いて、自分の目で確かめてみませんか。

文化環境学系  
都市史・建築史・歴史的環境の保全再生  
増井 正哉 教授  
人環棟4F 421研究室  
集合場所：B



皆さんが住む町・村にはそれぞれに固有の歴史・文化があり、それらとどのように保全し活用していくかが、町・村の再生の鍵として注目されています。ただ、再生・活用をはかるなかで、大切な歴史・文化が失われてしまう例もよく目にします。私たちは国内外の具体的な町・村を対象に、歴史的建造物・町並み景観・史跡や名勝の保存整備計画づくりや保存管理の仕組みづくりをお手伝いするなかで、歴史・文化を読み解く手法、それを保全・再生に結びつけていく手法、さらにはそれを持続的に可能にしていく社会的な仕組みづくりの研究を行っています。

文化環境学系  
人類学・「ジブジー」/ ロマ研究  
岩谷 彩子 准教授  
人環棟4F 427研究室  
集合場所：B



人やものの移動によって、いかに社会の境界や価値観はつくられるのか。本研究室ではこの問いについて、文化人類学という学問から考えています。文化人類学は、一見異なる文化や社会にみられる共通性や違いの背景を明らかにすることで、「人間とはなにか」という問いを考察していく学問です。特に私は「ジブジー」/ロマと呼ばれる人々の事例を通して、近代化以降、ヨーロッパやインドで移動を組み入れた生活様式が周縁化されていった過程や、彼らの社会の持続に關係している信仰や芸術の特徴、彼らが生活の場としてきた公共空間の現代的な変容について研究しています。関心がある方はぜひお越しください。

自然科学系  
物性物理学  
木下 俊哉 准教授  
3号館2F 204研究室  
集合場所：B



「この宇宙で最も冷たい物質は何か?」それはレーザー光によって冷却された原子と言われています。よって、そのような原子の集団である気体を研究している実験室が、宇宙で最も冷たい場所ということになります。本研究室もそんな場所の一つです。そこでは、粒子と思っていた原子が波のように振舞うなど、常識とはかけ離れた現象が起こります。物理の本質に迫る研究を日々行っている実験室の様子をぜひご覧ください。

自然科学系  
有機構造学  
高橋 弘樹 助教  
人環棟5F 502研究室  
集合場所：B



研究室では、有機結晶の物性について研究しています。結晶に機能を果たさせるためには、どのような構造をもつ分子が適しているかを考えています。また、結晶化を用いた鏡像異性体の分別にも取り組んでいます。鏡像異性体どうしは、融点、沸点や溶解度などの物理化学的性質が全く同じです。しかし、香料に含まれる鏡像異性体分子は臭いで区別することができます。この違いをなぜ分けてみませんか?

自然科学系  
熱帯雨林の昆虫学  
市岡 孝朗 教授  
人環棟4F 403研究室  
集合場所：B



地球上には、数百万種以上の生物種が存在していると言われ、その大多数が熱帯地域に生息している昆虫種だと推定されています。特に、高温多雨が年中続く赤道直下の地域に発達する熱帯雨林には、膨大な数の昆虫が生息しており、まだ名前がつかない昆虫も多数含まれています。また、熱帯雨林の昆虫の大多数の種について、何を食べて、どこで休み、どのように成長し、天敵からどのように逃れ、どこで卵産むのか...などといった生態がほとんどわかっていません。熱帯雨林の昆虫に隠された謎に切り組む、我々の研究を紹介します。

自然科学系  
古地磁気学・岩石磁気学  
石川 尚人 教授  
人環棟4F 410研究室  
集合場所：B



岩石や堆積物は極めて弱いが磁化を帯びています。それは微量量の砂鉄のような磁性鉱物がそれらには含まれているからです。そんな岩石の磁化や含まれている磁性鉱物に着目して、地磁気の変動や大陸移動、古環境変動といった事柄に関する研究をしています。岩石が磁化していることを実感できる実験も見てもらいたいです。そのような研究の様子を紹介します。あわせて、地磁気を感じる能力があるバクテリアもお見せできるでしょう。